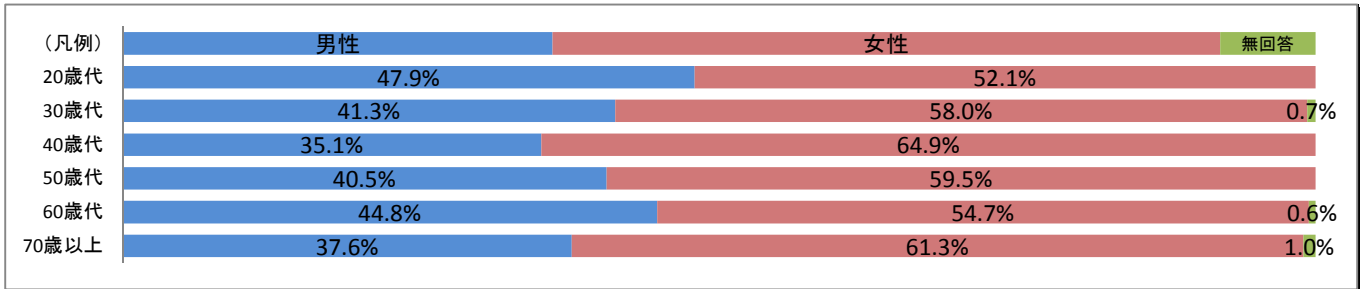


第2部 年齢別クロス集計結果

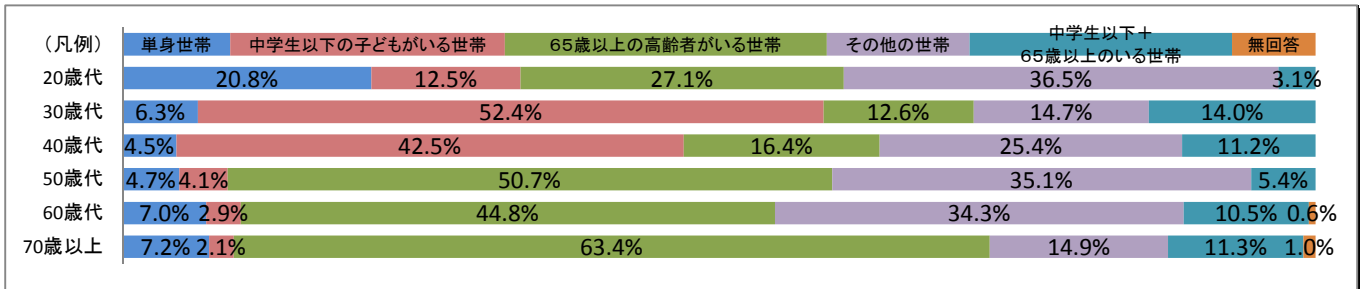
問1. 回答者の性別

「男性」は「20歳代」「60歳代」「30歳代」の順に多く、「女性」は「40歳代」「70歳以上」「50歳代」の順に多かった。特に「40歳代」において、男女の回答率の差が見られた。



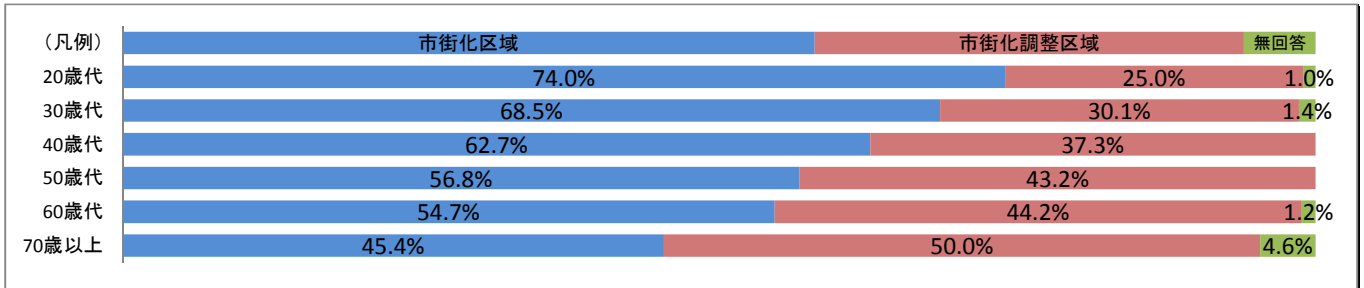
問3. 回答者の世帯構成

「20歳代」では「4.その他の世帯」、「30歳代」「40歳代」では「2.中学生以下の子供がいる世帯」、「50歳代」「60歳代」「70歳以上」では「3.65歳以上の高齢者がいる世帯」がそれぞれ多かった。「30歳代」においては、65歳以上の高齢者がいる割合が比較的低くなっている。



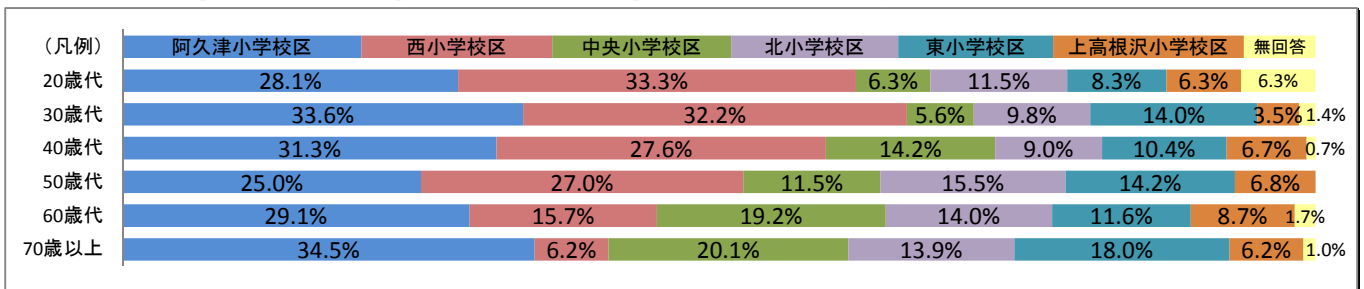
問4. 回答者の区域

「市街化区域」は「20歳代」「30歳代」「40歳代」の順に多く、「市街化調整区域」は「70歳以上」「60歳代」「50歳代」の順に多かった。年齢層が上がるにつれて、「市街化調整区域」の割合が増えていく結果となった。



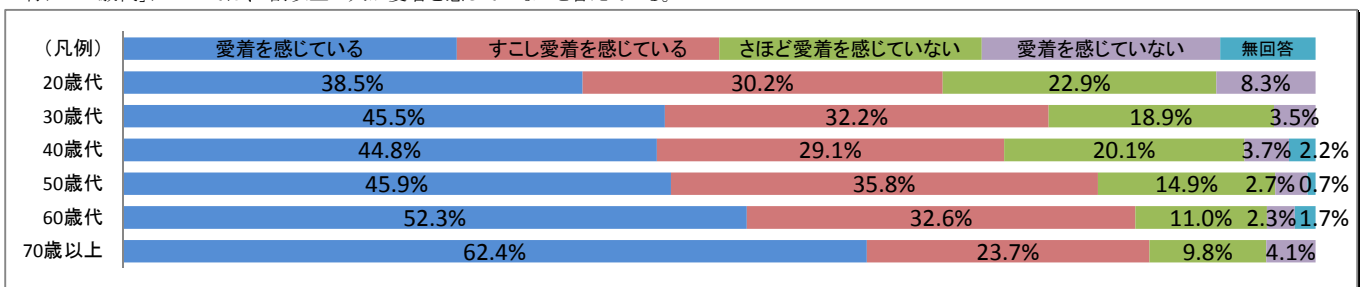
問5. 回答者の学区

「20歳代」「50歳代」では「2.西小学校区」、その他の年齢別では「1.阿久津小学校区」の割合が高い。また、「2.西小学校区」においては、「40歳代」以下の割合が高く「60歳代」以上の割合が低くなっている。



問6. 回答者の愛着

高根沢町に対する愛着は、年齢が上昇するにつれて「愛着を感じている」割合が高くなる傾向がみられた。特に「20歳代」については、3割以上の人愛着を感じていないと答えている。



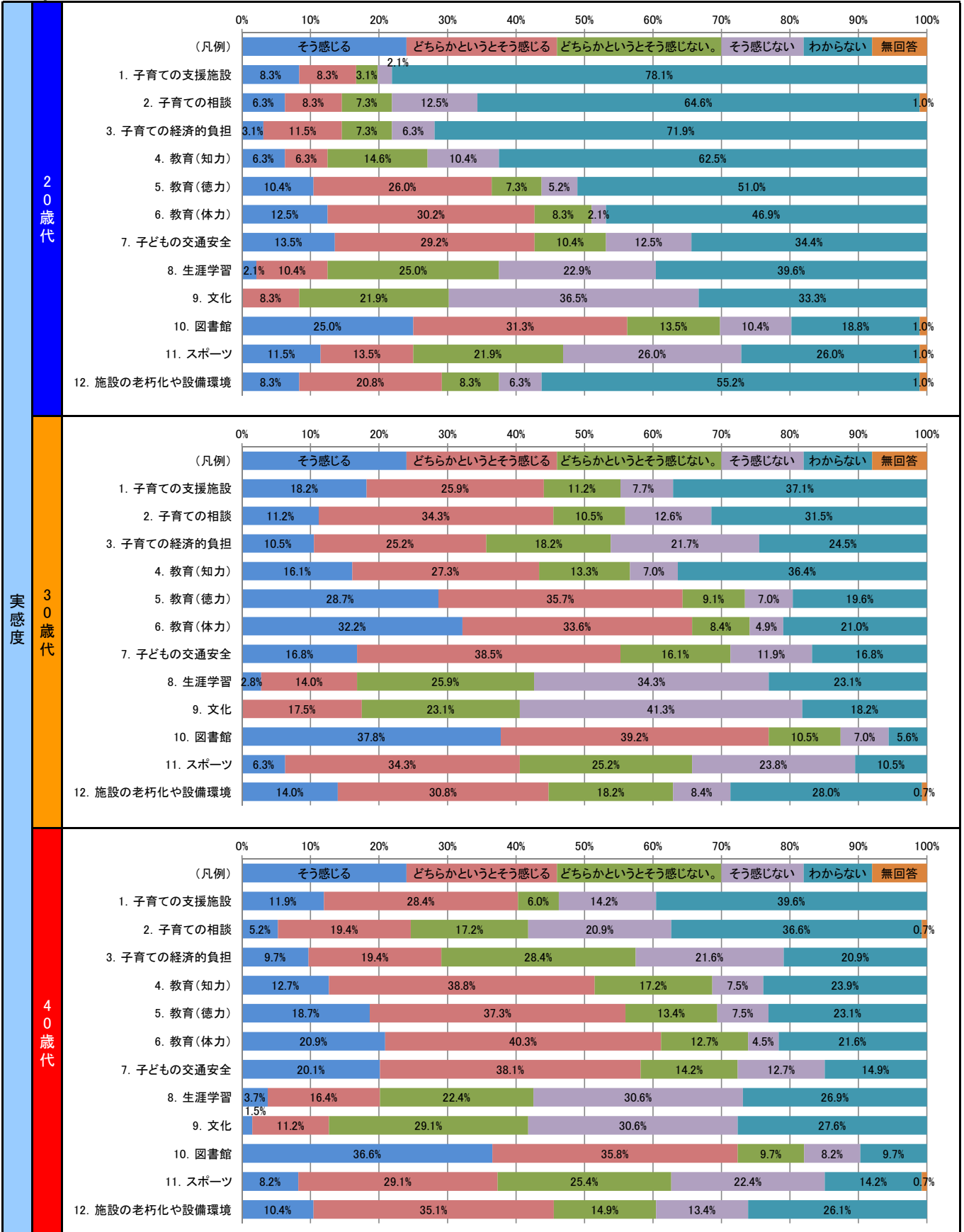
第2部 年齢別クロス集計結果

問7.『生活実感』について

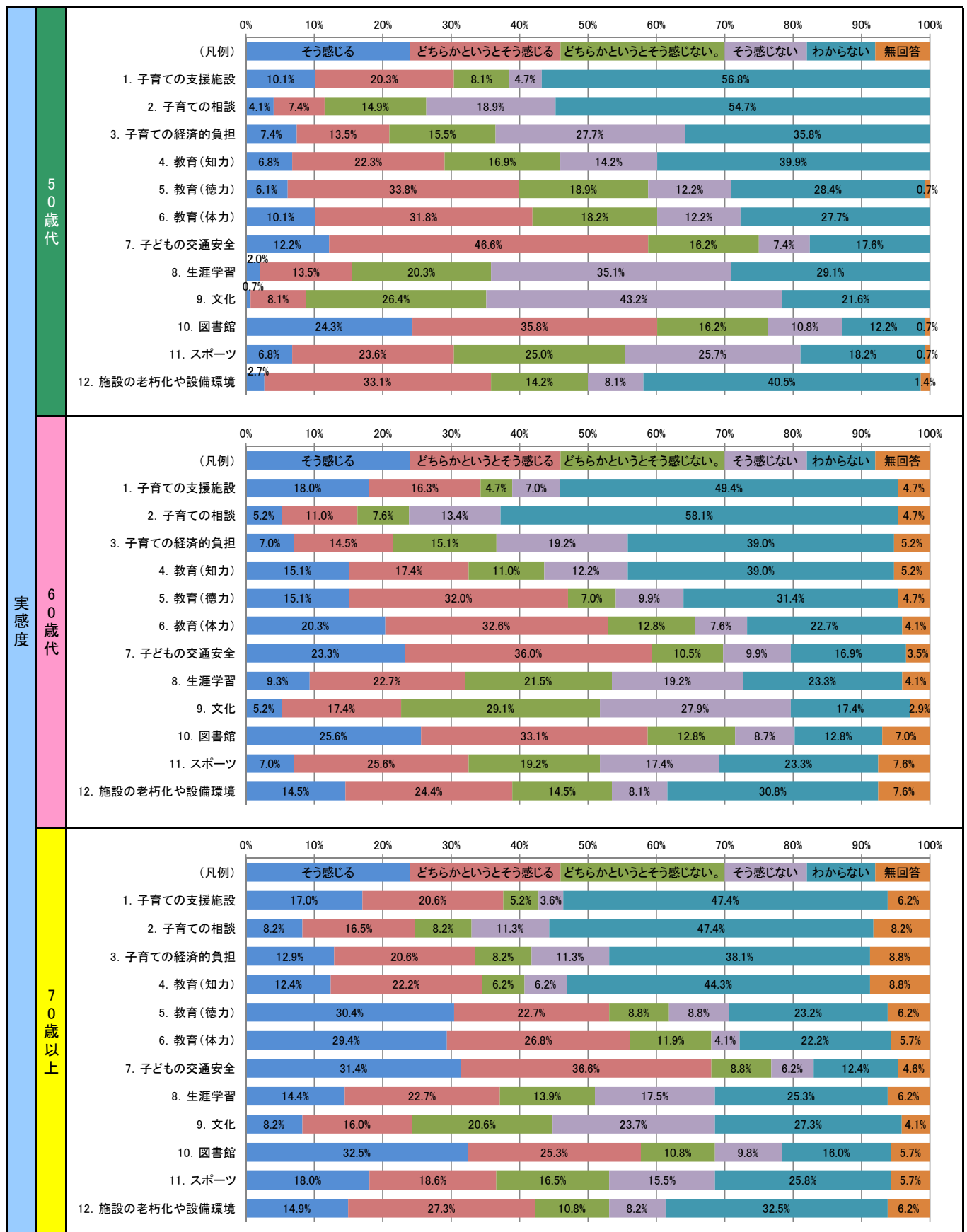
★子ども・教育・生涯学習分野 <実感度>

「20歳代」「30歳代」「40歳代」では、「10.図書館に関する生活課題」「6.教育(体力)に関する生活課題」「5.教育(徳力)に関する生活課題」の順で、「50歳代」「60歳代」では、「7.子どもの交通安全に関する生活課題」「10.図書館に関する生活課題」の順で、「70歳以上」は「7.子どもの交通安全に関する生活課題」「6.教育(体力)に関する生活課題」の順で「実感度」が高いとする割合が高かった。

また一方、全ての世代において、「9.文化に関する生活課題」の「実感度」がもっとも低く、続いて「20歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」では、「8.生涯学習に関する生活課題」、「60歳代」では、「3.子育ての経済的負担に関する生活課題」、「70歳以上」では、「スポーツに関する生活課題」の順で「実感度」が低い結果となった。



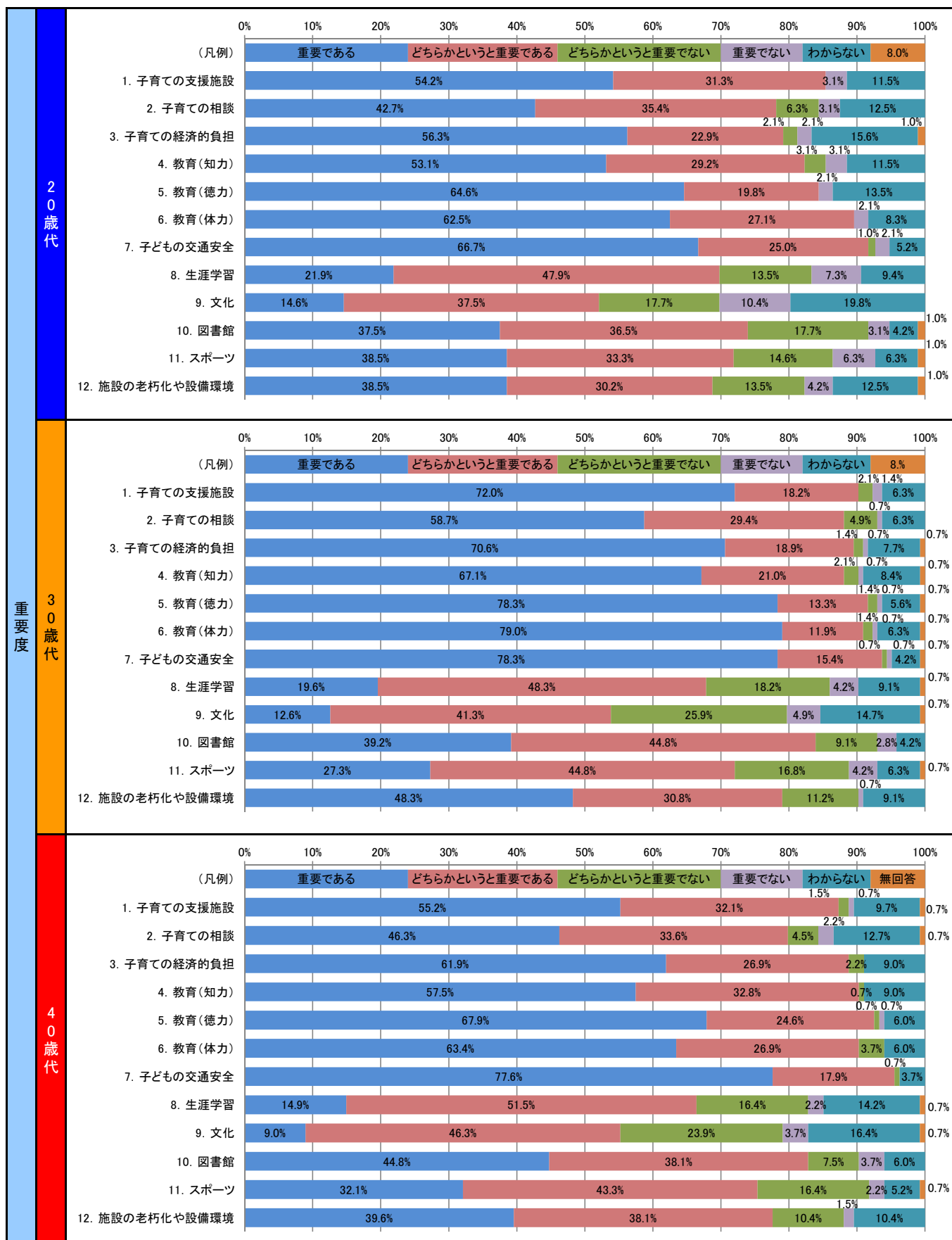
第2部 年齢別クロス集計結果



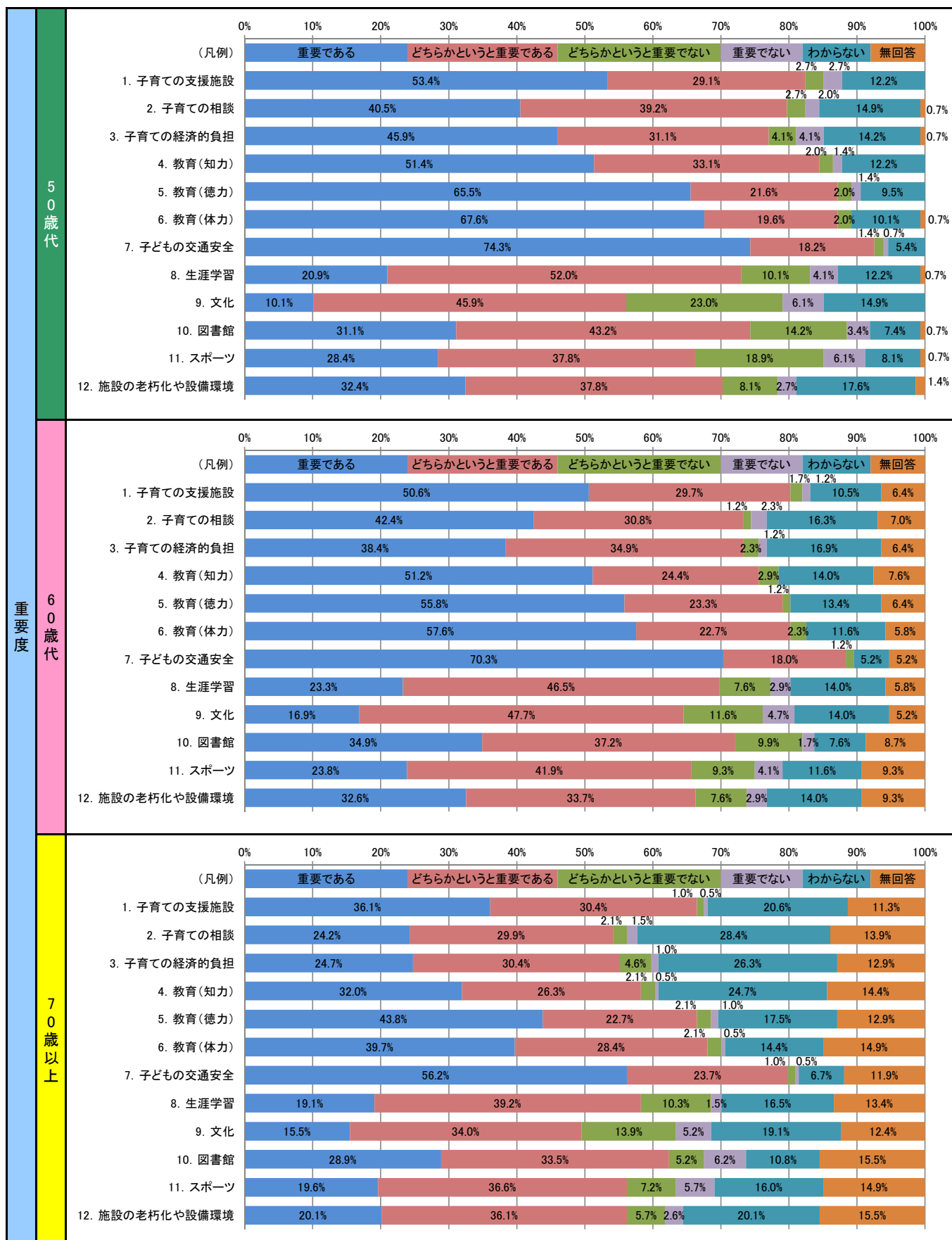
第2部 年齢別クロス集計結果

★子ども・教育・生涯学習分野 <重要度>

全ての世代において、「7.子どもの交通安全に関する生活課題」の「重要度」の割合がもっとも高く、続いて「20歳代」「30歳代」「50歳代」「60歳代」「70歳以上」では、「6.教育(体力)」、「40歳代」では、「5.教育(徳力)」の順で「重要度」の割合が高かった。
一方、「実感度」でもっとも低かった「9.文化に関する生活課題」は、「重要度」についても低い結果となった。



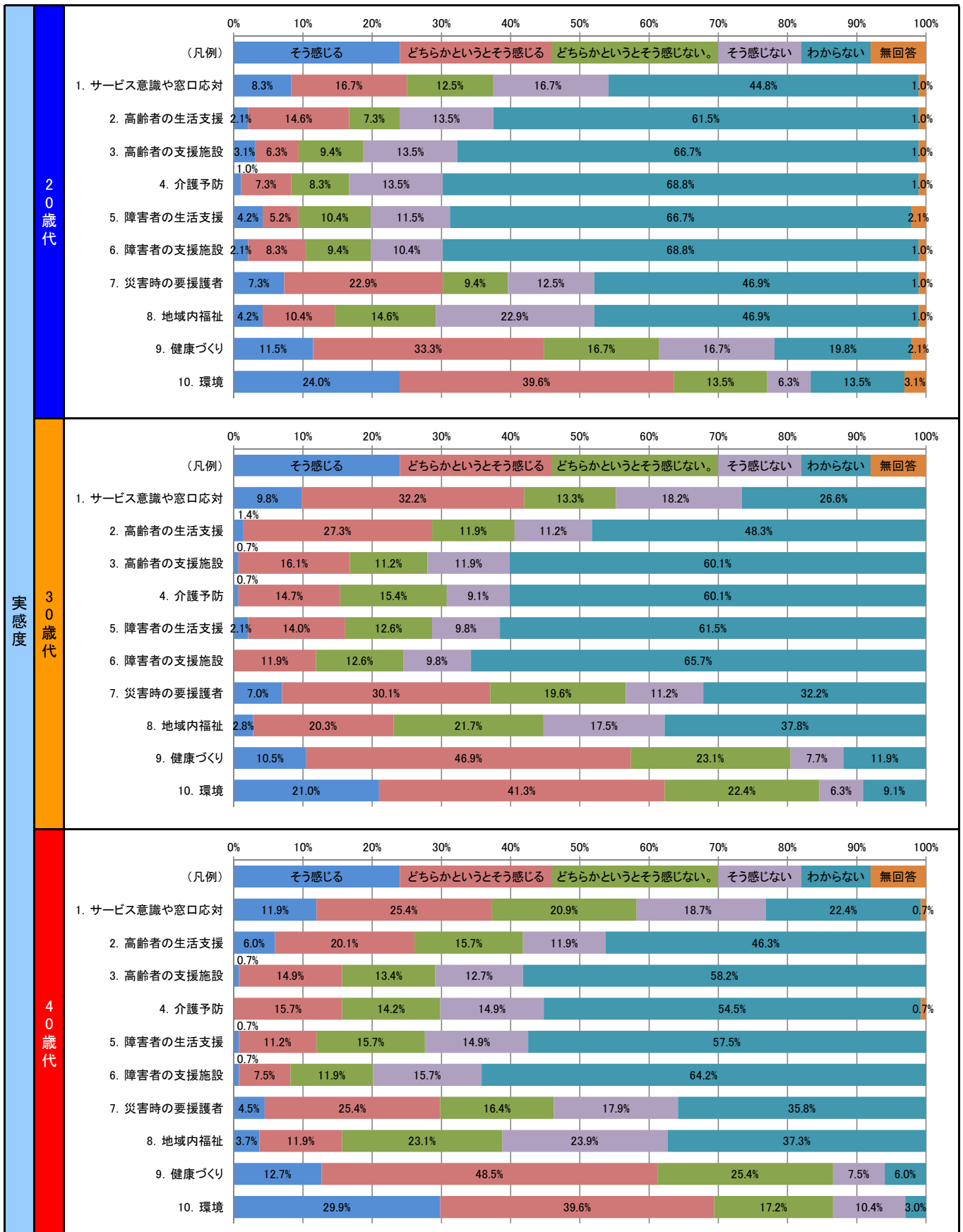
第2部 年齢別クロス集計結果



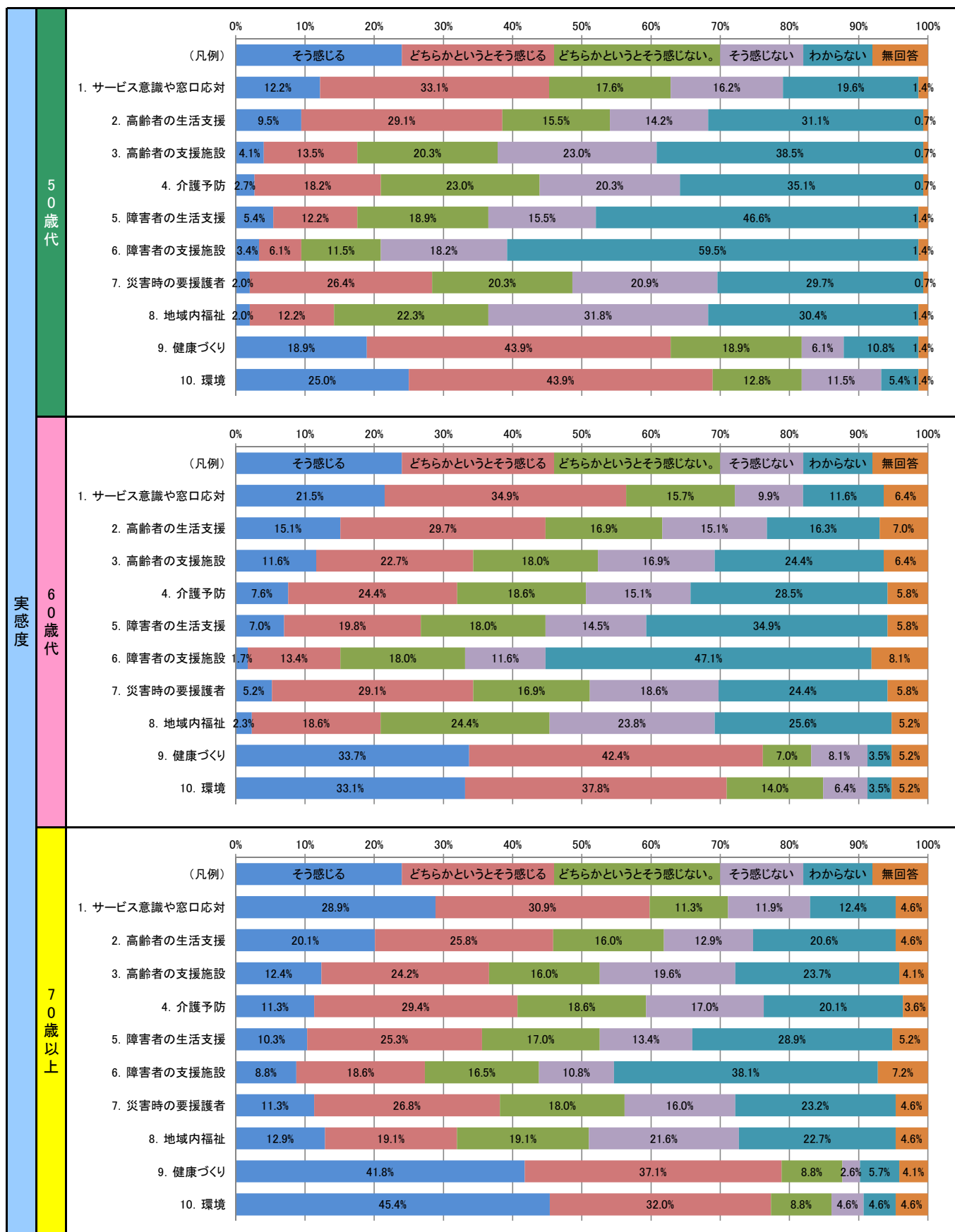
第2部 年齢別クロス集計結果

★住民生活・福祉・環境分野 <実感度>

「20歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」では、「10.環境に関する生活課題」「9.健康づくりに関する生活課題」の順で、「60歳代」「70歳以上」では、「9.健康づくりに関する生活課題」「10.環境に関する生活課題」の順で「実感度」が高いとする割合が高かった。
 また一方、全ての世代において、「8.地域内福祉に関する生活課題」の「実感度」がもっとも低い結果となった。



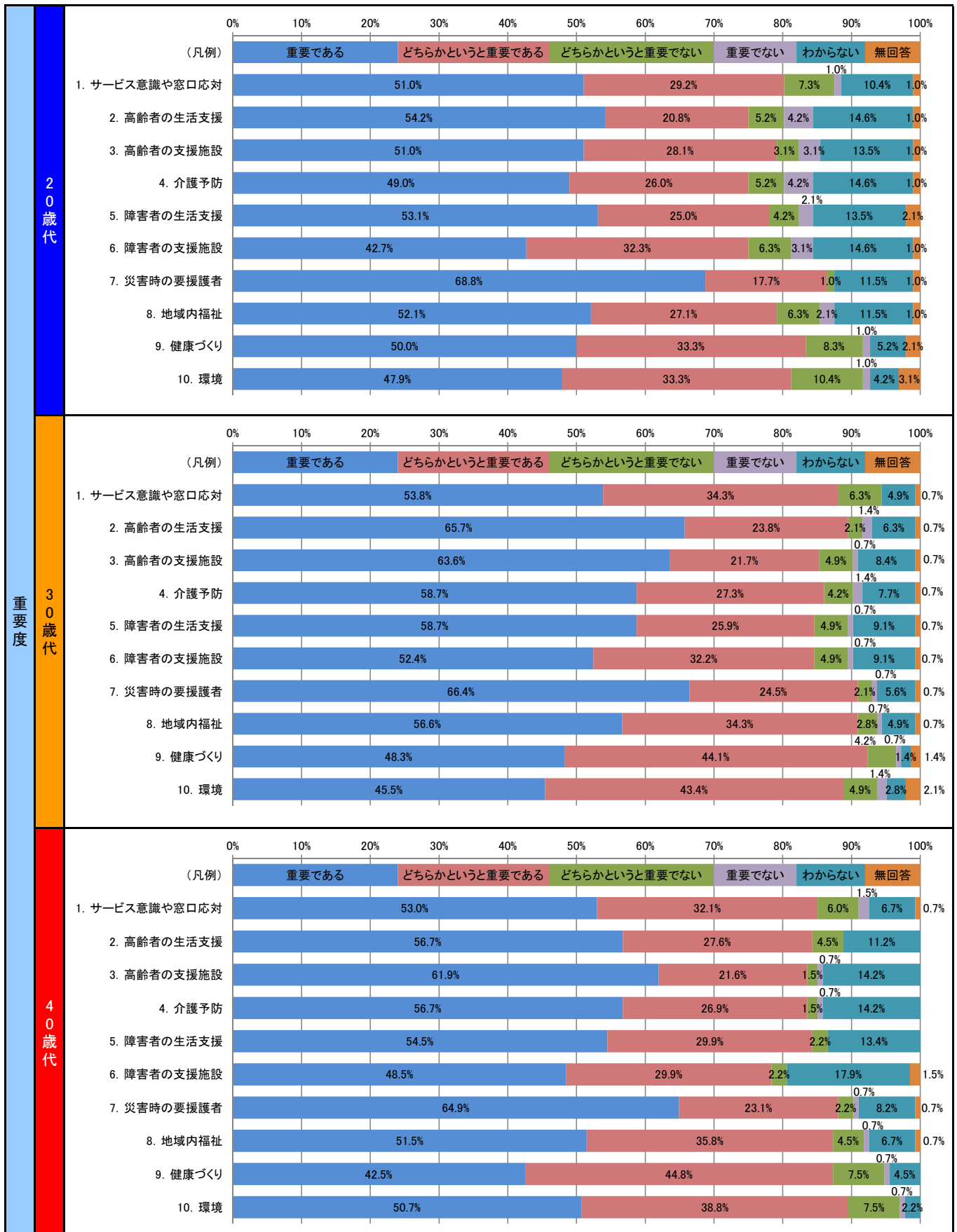
第2部 年齢別クロス集計結果



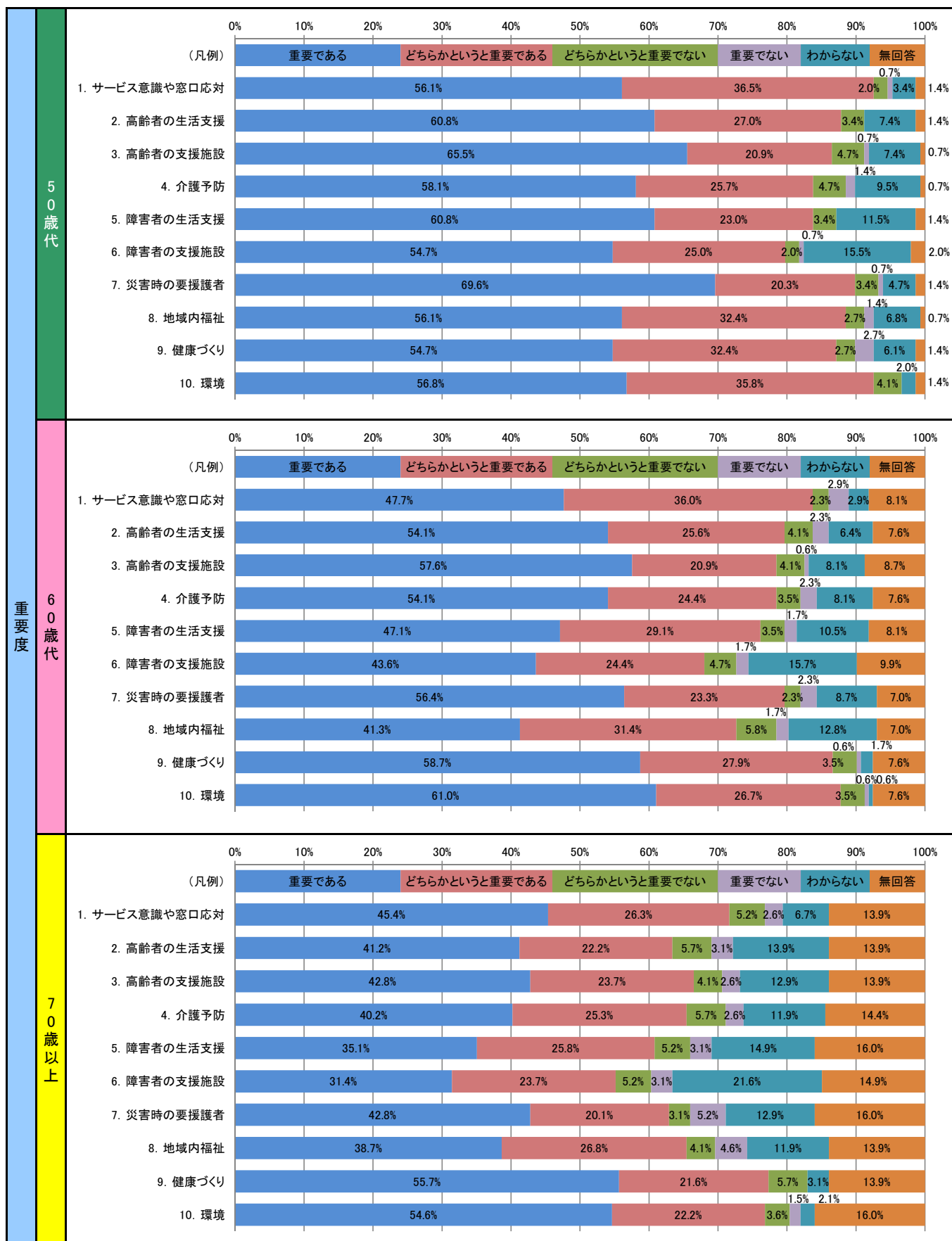
第2部 年齢別クロス集計結果

★住民生活・福祉・環境分野 <重要度>

「20歳代」「30歳代」「40歳代」では、「7.災害時の要援護者に関する生活課題」、「50歳代」では、「1.サービス意識や窓口対応に関する生活課題」、「60歳代」では、「10.環境に関する生活課題」、「70歳以上」では、「9.健康づくりに関する生活課題」の「重要度」の割合が高かった。



第2部 年齢別クロス集計結果

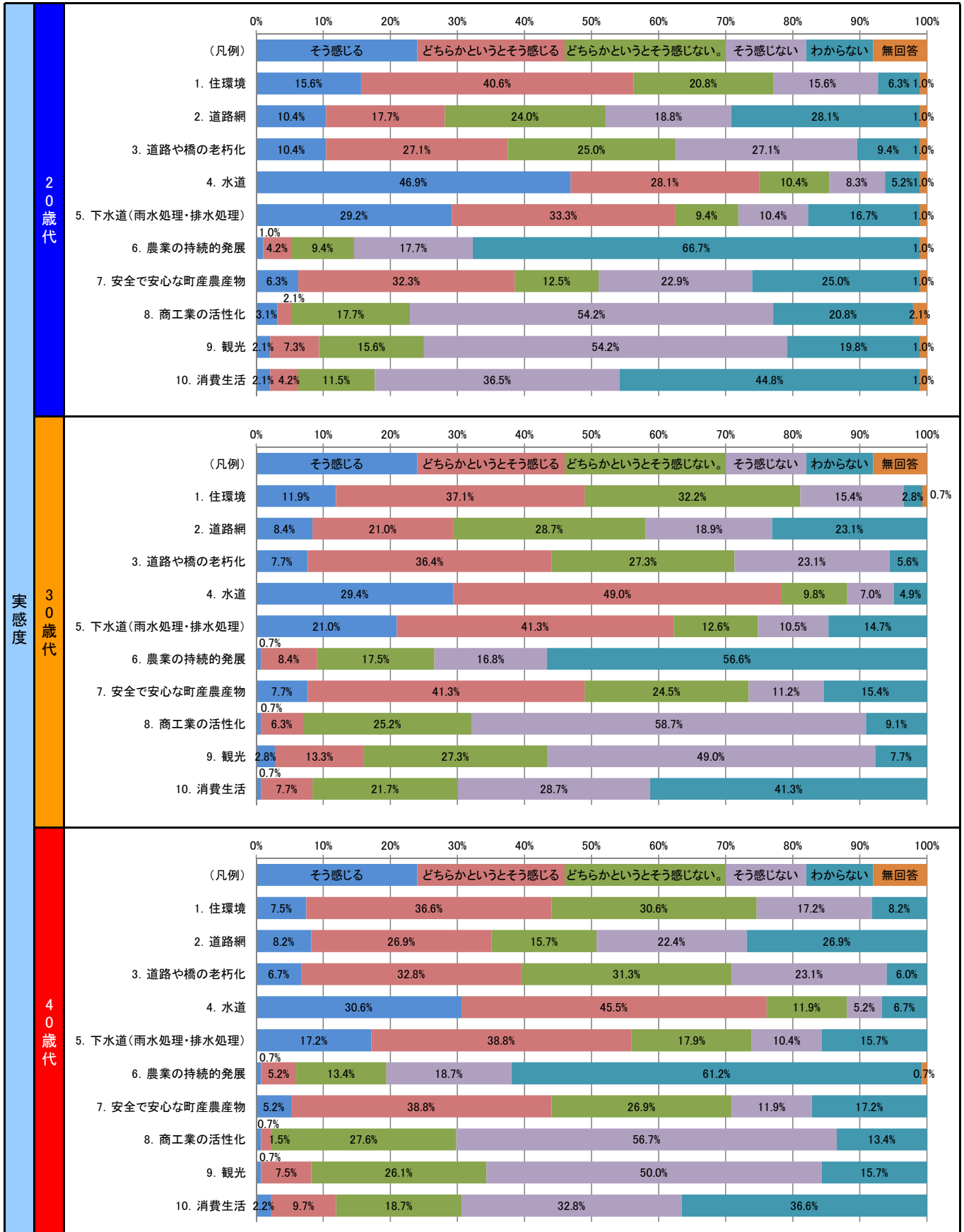


第2部 年齢別クロス集計結果

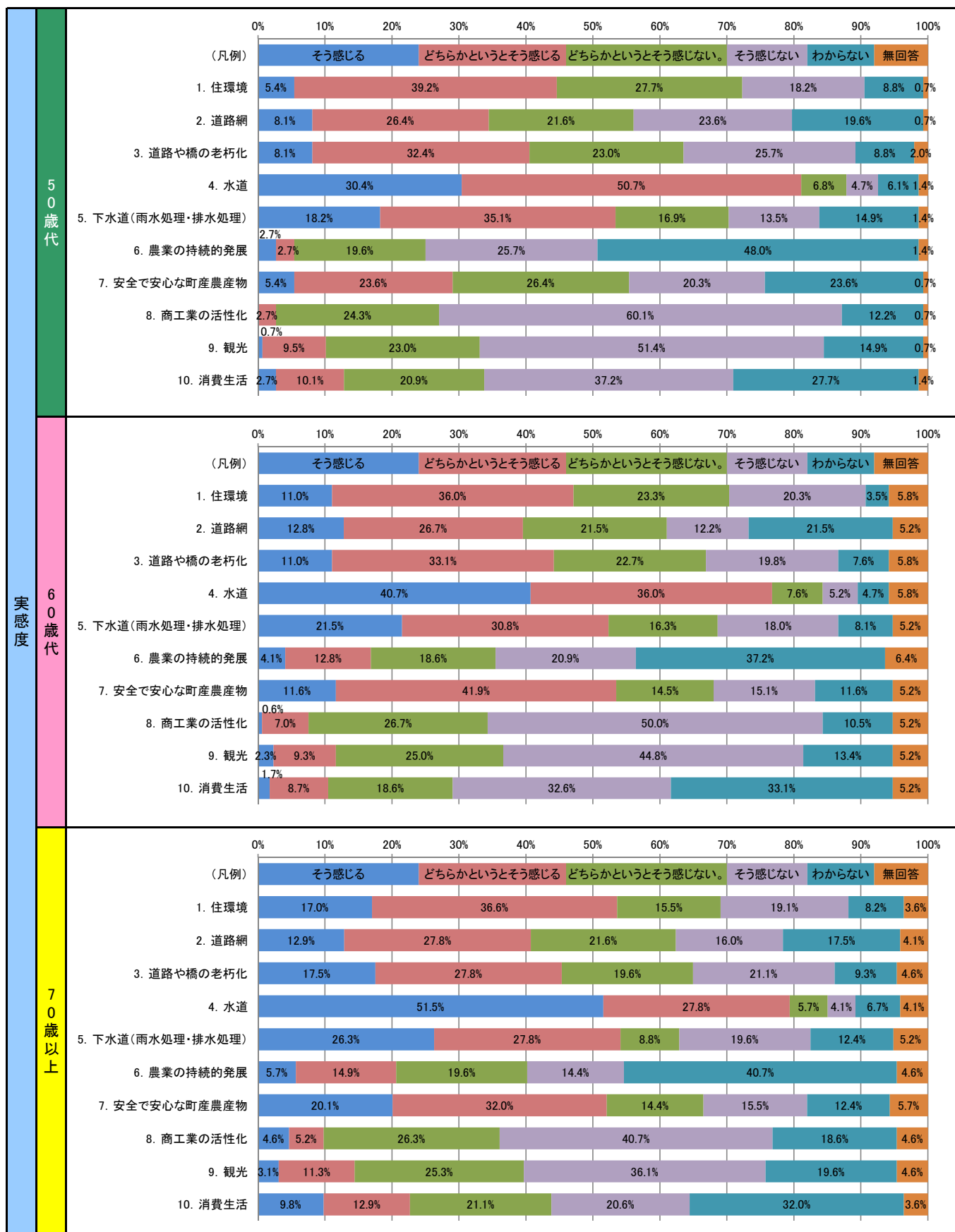
★都市整備・上下水道・産業分野 <実感度>

「20歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」「70歳以上」では、「4.水道に関する生活課題」「5.下水道(雨水処理・排水処理)に関する生活課題」の順で、「60歳代」では、「4.水道に関する生活課題」「7.安全で安心な町産農産物」の順で「実感度」が高いとする割合が高かった。

また一方、全ての世代において、「8.商工業の活性化に関する生活課題」の「実感度」がもっとも低く、続いて「9.観光に関する生活課題」「10.消費生活に関する生活課題」と続く結果となった。



第2部 年齢別クロス集計結果

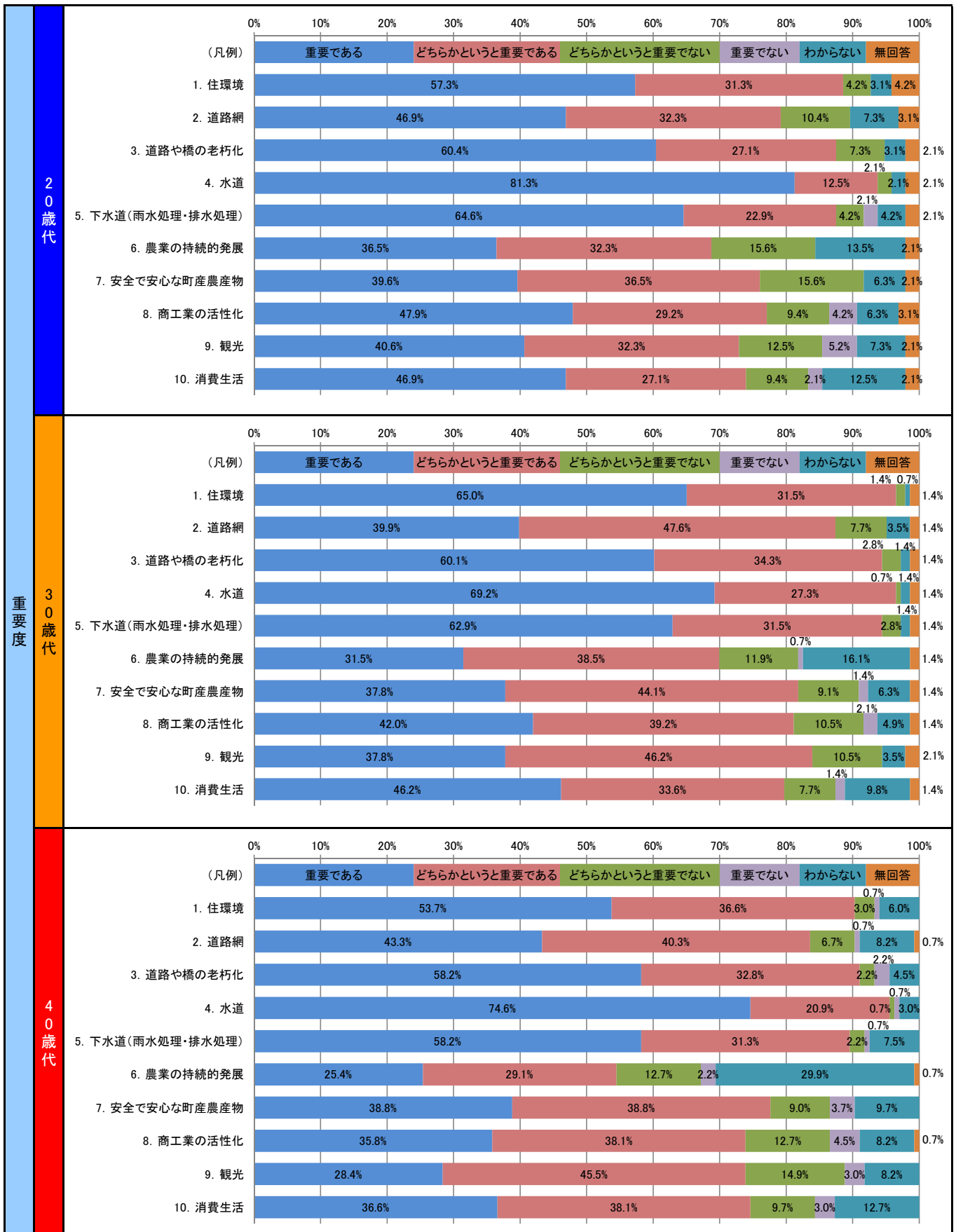


第2部 年齢別クロス集計結果

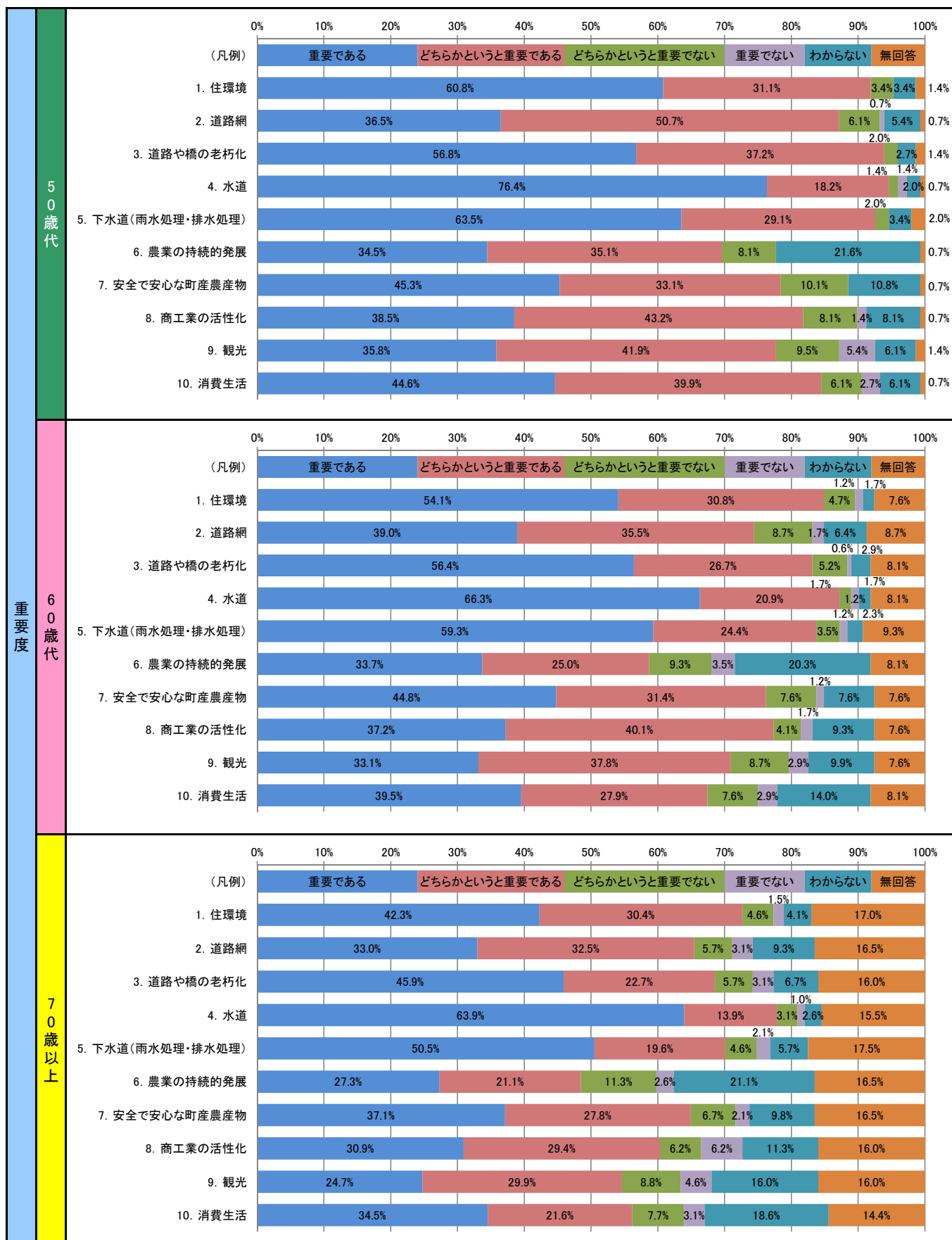
★都市整備・上下水道・産業分野 <重要度>

「20歳代」「30歳代」「40歳代」「60歳代」「70歳以上」では、「4.水道に関する生活課題」「1.住環境に関する生活課題」「5.下水道(雨水処理・排水処理)に関する生活課題」の順で、「重要度」の割合が高かった。

一方、全ての世代において、「6.農業の持続的発展に関する生活課題」の「重要度」がもっとも低い結果となった。



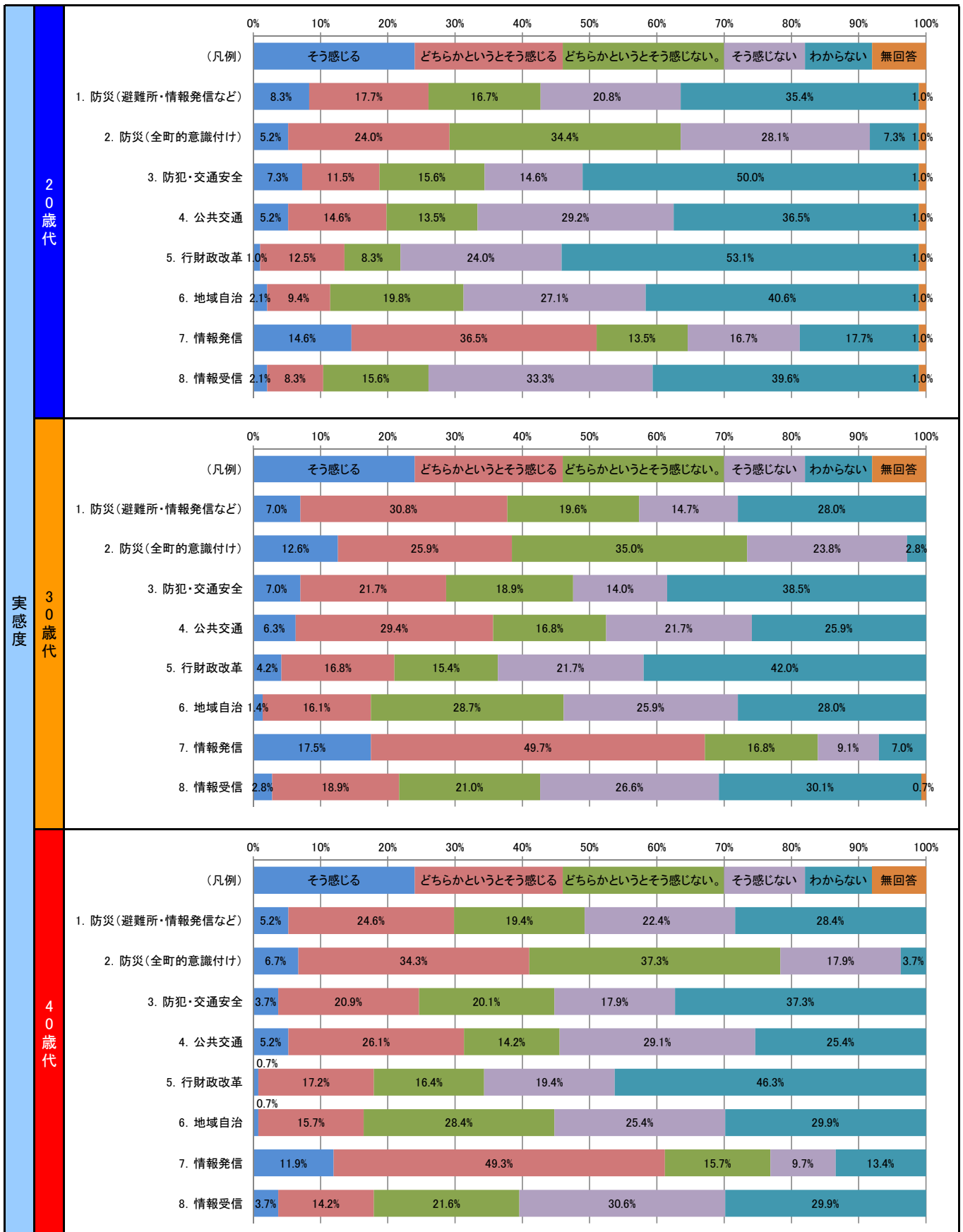
第2部 年齢別クロス集計結果



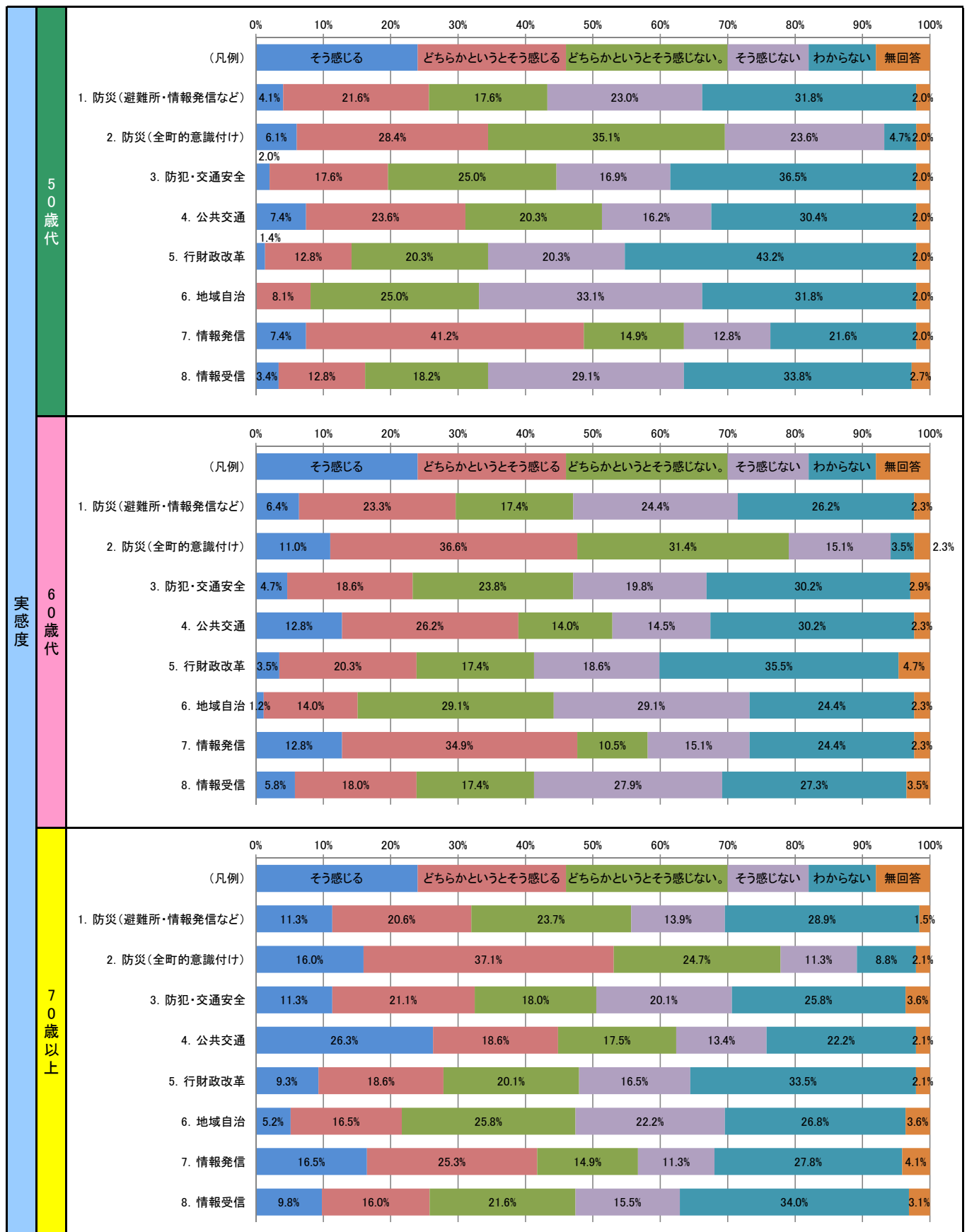
第2部 年齢別クロス集計結果

★町政運営・地域自治・地域安全分野 <実感度>

「20歳代」「30歳代」「40歳代」では、「7.情報発信に関する生活課題」「1.防災(避難所・情報発信など)に関する生活課題」の順で、「50歳代」「60歳代」では、「7.情報発信に関する生活課題」「4.公共交通に関する生活課題」の順で、「70歳以上」では、「2.防災(全町の意識付け)に関する生活課題」「7.情報発信に関する生活課題」の順で「実感度」が高いとする割合が高かった。
 また一方、全ての世代において、「6.地域自治に関する生活課題」「8.情報受信に関する生活課題」の「実感度」が低い結果となった。



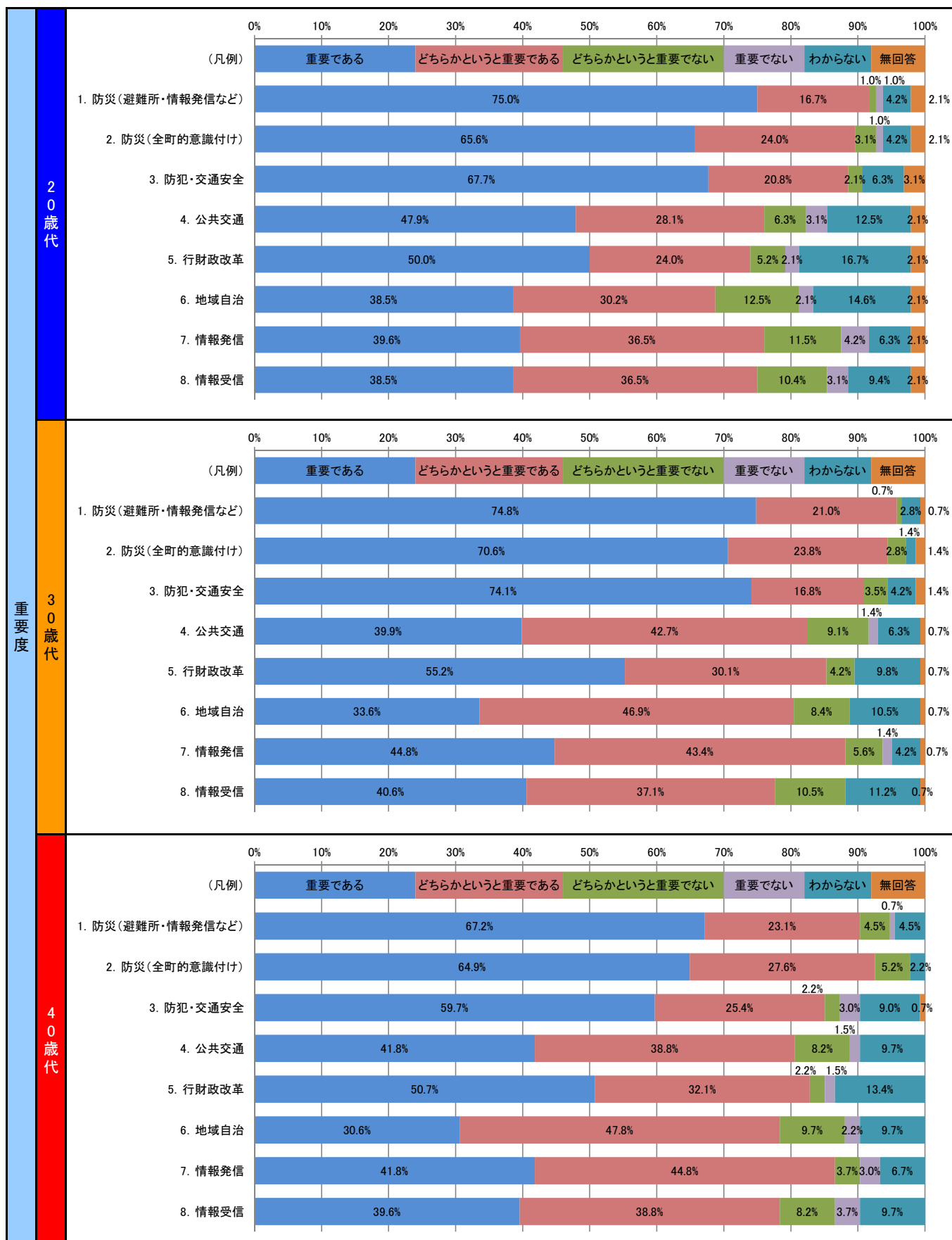
第2部 年齢別クロス集計結果



第2部 年齢別クロス集計結果

★町政運営・地域自治・地域安全分野 <重要度>

「20歳代」では、「1.防災(避難所・情報発信など)に関する生活課題」「3.防犯・交通安全に関する生活課題」の順で、「30歳代」「50歳代」では、「1.防災(避難所・情報発信など)に関する生活課題」「2.防災(全町的意識付け)に関する生活課題」の順で、「40歳代」「70歳以上」では、「2.防災(全町的意識付け)に関する生活課題」「1.防災(避難所・情報発信など)に関する生活課題」の順で、「60歳代」では、「2.防災(全町的意識付け)に関する生活課題」「3.防犯・交通安全に関する生活課題」の順で、それぞれ「重要度」の割合が高かった。



第2部 年齢別クロス集計結果

